

科目名	スポーツ実技 I	英文表記	Fitness and Sports I	平成25年3月11日			
科目コード	3009						
教員名: 久米大祐 技術職員名:							作成
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科	3年	必	履修	1単位	実技	前期	
科目目標	生涯にわたり運動・スポーツに親しむための基礎的能力を身につける。						
総合評価	・各種目の実技60%(スキルテスト・観察評価)、授業への取り組み(意欲・興味・関心・態度・チームへの貢献)40%(学習カード・観察評価)で評価する。 ・60%以上を合格とする。						
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		目標割合	
	①	各スポーツの種目特性を理解し、適切な実践方法および基礎技術を習得する。		⇒	各種目のスキルテスト、観察評価で評価する。		60%
	②	チーム活動を通じて、自己学習能力、コミュニケーション能力および協調性を養う。		⇒	観察評価、学習カードで評価する。		40%
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
		○		◎			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	0	100	100	
基礎的理解	①				60	60	
応用力(実践・専門・融合)						0	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	②				40	40	
主体的・継続的学修意欲						0	
授業概要、方針、履修上の注意	【授業概要と方針】 球技、水泳等の実践を通じて、各スポーツの種目特性、実践方法、基本ルール、基礎技術および戦術を学習する。グループ学習を基本とし、球技種目ではチームでの練習や戦術の立案、試合を通じて自己学習能力、コミュニケーション能力および協調性を養う。スポーツ種目ごとにスキルテストを行い、基礎技術の習得度を把握する。授業ごとに学習カードの記入を行い、学習到達度を自己認識するとともに、次回以降の課題設定等に役立たせる。各スポーツの楽しさ・難しさを理解し、「自分に合ったスポーツ」を見つける。 【履修上の注意】 ・半袖シャツ、短パン(ハーフパンツ可)およびシューズを着用すること。 ・アクセサリや腕時計等は安全のため外すこと。 ・やむを得ない事情により見学を希望する場合は、授業開始前に見学届を提出すること。						
教科書・教材	・教員自作プリント ・学習カード ・参考:アクティブスポーツ(大修館書店)						

授 業 計 画

週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	オリエンテーション・軽運動	2	授業の概要、準備、評価の説明・軽運動		
2	フットサル(1)	2	基本ルールの理解・基礎技術の習得(パス、トラップ)・ゲーム		
3	フットサル(2)	2	基礎技術の習得(シュート)・ゲーム		
4	フットサル(3)	2	チーム戦術の理解と立案・ゲーム		
5	フットサル(4)	2	スキルテスト・ゲーム		
6	バドミントン(1)	2	基本ルールの理解と立案・基礎技術(ストローク、サービス)の習得・ゲーム		
7	バドミントン(2)	2	基礎技術(ストローク、サービス)の習得・ゲーム		
8	バドミントン(3)	2	戦術の理解と立案・ゲーム		
9	バドミントン(4)	2	スキルテスト・ゲーム		
10	空手(1)	2	基本動作(つき、けり、受け)と空手の型の習得		
11	空手(2)	2	基本動作(つき、けり、受け)と空手の型の習得		
12	空手(3)	2	グループ発表		
13	水泳(1)	2	クロール・平泳ぎの基本泳法の習得		
14	水泳(2)	2	クロール・平泳ぎの基本泳法の習得		
15	水泳(3)	2	スキルテスト		
期末					
16		2			
17		2			
18		2			
19		2			
20		2			
21		2			
22		2			
23		2			
24		2			
25		2			
26		2			
27		2			
28		2			
29		2			
30		2			
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的の所用時間(試行)	
①					
②					
③					
備考欄					